



後期生徒総会で新たな活動を提起



10月30日（金）後期生徒総会を行いました。新旧執行部が協力し、クラス発表会で『スマホ宣言 at 勝田中』を行うことになりました。各学年で、スマホの適切な



使い方をするためにスマホを利用する時の約束を話し合い、それを元に『スマホ憲法三ヶ条』を決定。この三ヶ条を生徒たちが自分たちで意識して守っていくために、全校生徒にキャラクター募集をすることになりました。名付けて「スマ憲さん」。募集をした図案から4人の原案を選定して11月5日（木）に投票。3年生の絹田志穂さん原案のキャラクターが決定。これから、勝田中学校生徒会専用キャラクターとしてこの「スマ憲さん」が活躍します。生徒自身がスマホの適正な利用について自分の力で考え、判断し、自己抑制力をつけるように努力します。ご家族の皆様も、生徒たちの健全な判断力が育つよう、ご指導ご助言ください。よろしくお願いいたします。

スマ憲さん



3年：絹田志穂さん



3年：鷹取 恵さん



3年：長岡桃子さん



3年：坂元佳祐さん

勝田中学校生徒会 スマホ憲法三ヶ条

- 第1条 時間制限は午後10時までとする
- 第2条 通話アプリは相手の気持ちを考えたものとする
- 第3条 いかなる個人情報も記載しないものとする

生徒会が選定したキャラクター4案です。「スマ憲さん」は生徒会専用キャラクター、他の3つのキャラクターは勝田中学校専用キャラクターとして、各種通信等に利用させていただきます。

美作文化センターに響く大合唱

11月3日（火）美作文化センターで美作市制施行11周年記念式典が行われ、本校全学年生徒が参加。美作中学校の2年生とともに、ベートーヴェン作曲の交響曲第9番第4楽章『歓喜の歌』を力強く歌い上げました。その後、会場みなさんと一緒に「うさぎ追いし かの山」と『ふるさと』を大合唱。会場全体に響き渡る歌声が、しみじみと心をうるおしました。



行事は日常の延長線上にあり！
発表会はその練習過程に意義
があり、その成果発表です。

〈1年テーマ〉
一人一人が主役
～輝かせよう
13人の絆～

11月13日

〈2年テーマ〉
輝（ひかり）
～笑顔を咲かせよう～

〈3年テーマ〉
3年A組
描こう！20の色
～クラス発表会を
自分たちの色に～



勝田中に文化の華を…

歌声の輪を…

心の絆を…

「本年度のクラス発表会は文化の香り高いものにしましょう」と企画段階から呼びかけてきました。その中で、各学年が工夫に工夫を重ねて、それぞれの演目を決めました。多くの方のご観覧を得て、生徒たちが精一杯の発表をしました。各学年で取り組んだ合唱とリコーダー奏。日々の練習の成果が出ていました。1年は人権を考える朗読劇、2年は英語劇、3年は全員で表現するパフォーマンスに挑戦しました。勝田中学校の文化を感じていただけたら幸いです。貴重な授業の時間を使って行う発表会。見応えのあるものを創っていきます。

そして、勝田中学校初チャレンジの全校合唱。組曲『ふるさと勝田～心の調べ～』と第九合唱『歓喜の歌』を、豊かな自然に恵まれた勝田に生まれ育った“かつたっ子”たちが、心を込めて歌いました。決して大人数とは言えない勝田中の全校生徒ですが、体育館いっぱい、いえ、勝田の空に響き渡れと歌い上げました。「唇に歌を、心に太陽を」勝田中の生徒たちの心の太陽が、歌を通してしみわたり、明日への希望と未来・夢を拓く力強い足音を響かせた合唱となりました。一人一人の心の絆がしっかり結ばれると、こんなにも力強く、人の心に響く歌声になる。このことを生徒自らの自信と誇りに変えて、これからもしっかりと人生の歩みを刻ませます。



生徒が考え、生徒が創る

3 年

1 年

2 年

スマホ宣言
at 勝田中

ビブリオバトル
書評合戦

文化委員長の所風子さんの開会挨拶に続き生徒会新旧執行部による『スマホ宣言 at 勝田中』スマホ憲法の条文を一条ずつ、巻物で示すという印象的な提示方法で、観客の目と心を惹きつけました。文化委員会は、各学年が推薦する本を紹介。休憩時間に学年ボックスに投票をお願いし、結果、1年生の紹介した『なぎなた男子!!』に軍配が上がりました。

続く意見文発表では、9月5日に実施した各クラス意見発表会で学年代表に選ばれた次の3名が堂々と意見発表しました。1年：岡田尚大さん「いじめについて」、2年：柏木愛希さん「安法案と私たちの不安」、3年：谷口颯良さん「選択と決断」



展示の部も、美術・文芸部の作品、美術や家庭科の作品、閑谷研修・職場体験学習・修学旅行の壁新聞、人権標語の優秀作品など、生徒たちの日常の学びの姿が表れていました。

生徒たちが全力を出し尽くしたクラス発表会の最後に、後期生徒会長唐澤賢汰さんが閉会の挨拶を述べました。自分たちがこの発表会に込めた気持ちと保護者や地域の皆様に支えられていることへの感謝の辞を誠実に語りました。そして、全員で観客の皆様にお礼を申し上げ、本年度のクラス発表会を盛会に終えることができました。これからも勝田中学校は、ご家庭や地域の方々に期待と応援をしていただける“かつたっ子”の育ちと学びの場として努力していきます。今後とも、ご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

学びの構えをつくる！



11月5日には、社会科の研究授業、11月11日には理科の研究授業を実施しました。本年度はICT機器を活用してわかりやすく力のつく授業づくりを目標に授業改善を進めています。



3 年保育ふれあい体験

11月18日（水）10時から11時まで、3年生が家庭科の学習で勝田ひまわり園の幼児たちと保育ふれあい体験を行いました。



4グループに分かれて、絵本の読み聞かせをしたり、各自が作成したおもちゃを使って遊んだり、幼児たちとのふれあいタイムを楽しみました。幼児たちの無邪気な笑顔や素直な反応に中学生それぞれが癒され、やさしい気持ちがあふれた1時間でした。かつたっ子15の春プロジェクトでは幼児期から中学校卒業までの15年間をつなぎ、今後もいろいろな交流を進めます。

集団の美を堪能しました

11月20日（金）午後2時から、美作アリーナで行われていた日本体育大学集団行動の合宿最終日参観に全学年が参加しました。大人数の大学生たちが全員で呼吸と歩幅を合わせ、一糸乱れず歩く姿は息をのむ迫力で、整列の動き、休めの形、隊形を整える動き、斜めに交差する動きと、まるで精巧に組み立てられていくパズルを見ているかのような美しい動きに、会場からは思わずもらすため息やどよめきが沸き起こりました。何より、あれだけの人数がアリーナを歩く（競歩に近いほどのスピードで美しく歩くのです）にもかかわらず、足音が静かなのです。体育館シューズの床を擦る音が、本当に静かです。「歩く」という動作が、人の運動の基本なのだと改めて実感しました。



また、監督さんが「声をそろえ、心をそろえて歌を歌うことがチームの力を育てる」「しんどい練習もみんなの歌声が癒してくれる」「大きな声で合唱することが、精度の高い動きを支える」から練習の合間や最後に合唱を取り入れていることを紹介してくださいました。そして、その歌声たるや…。アリーナ全体に響き渡る男声と女声の見事なハーモニーと深い歌声。私たち新生勝田中学校が校歌からスタートし、第九大合唱や「ふるさと勝田～心の調べ～」全校合唱へとつないできた歌声。一流の美を全国で披露している日体大の集団行動も、基本は同じなのだと知って感銘を受けました。

見学の後には、生徒たちもフロアーに降りて集団行動の実体験です。あんなレベルの高い動きが、果たして初めての本校生徒たちにできるのだろうかと思っていましたが、何の何の。生徒たちは作東中学校2年生とともに4グループに分かれ、学生たちの指導と助言で一生懸命に練習しました。ほぼ1時間近くひたすら歩く練習をし、発表会をしました。体育の授業となんら変わらぬ内容にしっかりとついていき、男子のさわやかで勢いのある声と女子のひたむきさが印象的でした。

見学の後には、生徒たちもフロアーに降りて集団行動の実体験です。あんなレベルの高い動きが、果たして初めての本校生徒たちにできるのだろうかと思っていましたが、何の何の。生徒たちは作東中学校2年生とともに4グループに分かれ、学生たちの指導と助言で一生懸命に練習しました。ほぼ1時間近くひたすら歩く練習をし、発表会をしました。体育の授業となんら変わらぬ内容にしっかりとついていき、男子のさわやかで勢いのある声と女子のひたむきさが印象的でした。



先生たちも名監督さんの指導を受けました。